

# 尾張北部生態系ネットワーク形成ロードマップ

## 地域の現状と課題

### 自然の特徴

- ・まちのすぐそばに自然がある。
- ・公有地や大規模な私有地が多く、そこに自然が残されている。
- ・湿地が多く、東海丘陵要素植物群が分布している。
- ・湧水由来の水系において、湧水地、ため池、ため池の下流をひとつのまとまりとする独特の水田生態系がある。
- ・愛知県全体では希少な生物であっても、この地域では普通に見ることのできる生物が複数存在する。
- ・現在は、開発圧力よりも外来種による生態系への影響が懸念されている。
- ・東濃地域の生物が愛知県の他の地域に広がる、生態系ネットワークの結節点としての機能を有している。

### 地域社会の特徴

- ・丘陵地や平野部の開発が進んだが、近年、開発圧力は低下しつつある。
- ・丘陵地の広い範囲が自然公園や保安林に指定され保全が図られている。
- ・本地域をフィールドにしている教育機関、研究機関等が多い。
- ・知名度の高い歴史・文化資源が点在している。

### 主な課題

- ・丘陵地の自然の存在と「うらやま」の持つ価値について、広く住民に知ってもらうこと。
- ・人の手を入れて「保全」していく場所を明確にすること。
- ・林縁部を再生して、人と野生の生きもののすみ分けを明確にすること
- ・広域的な生態系ネットワークの観点から、この地域の位置づけや価値を明確にすること。
- ・既存の大規模な開発地における生物多様性の向上。
- ・土地所有者等が取り組みに参加するしくみづくり。

### ▼実現に向けた進め方

これまでご意見をいただいたメンバーに適宜、他の有識者や地元のステークホルダーを交えて持続可能な地域づくりに向けた積極的な検討・実施を進めます。

地域への提言(持続可能な地域づくりの提言をまとめます)

モデル事業の実施(ネットワークの視点で事業を実施します)

地域全体での展開(取組への参加主体・地域を増やします)

#### 協議会の構成

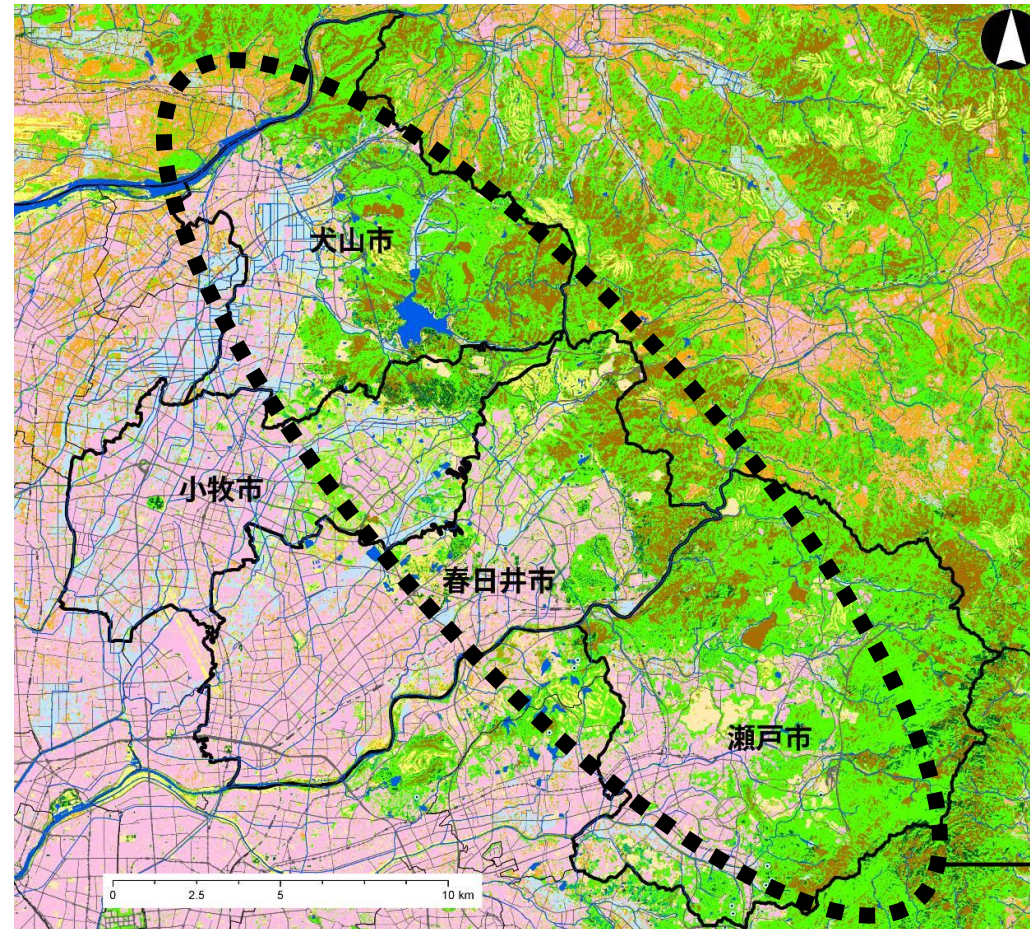
- ◆NPO・地域団体等  
犬山里山学研究所、みろく山麓の自然を守る会
- ◆企業、観光・文化・レクリエーション施設
- ◆研究機関  
中部大学、名古屋経済大学、(財)日本モンキーセンター
- ◆行政  
瀬戸市、春日井市、犬山市、小牧市、愛知県

## テーマ

## 《うらやま》の豊かな自然を再発見しよう

尾張北部地域は濃尾平野の奥に位置し、まちのすぐそばに丘陵地の森がせまっています。かつて、この森は、産業の場として、また、暮らしの糧を得る場として人々と深く関わりながら、結果として多くの生きものの生息場所になってきました。しかし、行きすぎた利用からはげ山となり、森を再生していくための取り組みを今でも続けているという、人の手による破壊と再生の歴史があります。現在では、生活スタイルの変化とともに、暮らしと森のつながりは失われ、そこにある自然も忘れられようとしています。一方で、この森は濃尾平野の上流の森として、下流部の洪水を防ぐなど、濃尾平野全体のまちの人々の暮らしを守る役割を今でも果たし続けています。

尾張北部地域では、地域を特徴づけ、今でもまちの人々の暮らしを守り、まちのすぐそばにあるこの森を、親しみと誇りをこめて《うらやま》と呼び、再び人々の心をこの森と自然に目を向けてもらうきっかけにしたいと思います。そして《うらやま》を風景として認識するだけでなく、うらやまの生態系のもつ価値を再発見するとともに、住民や土地所有者、行政などが協力して行動することによって、《うらやま》から地域へと自然を広げていきます。



### 取組の柱

#### 土地所有者の協力を得て《うらやま》の自然の価値を高める

生きものの移動の結節点としての役割を意識しながら、うらやまの中から、人の手を入れて守っていくべき場所を選び、大規模な所有地が多い特徴を活かして、土地所有者の協力を仰ぎながら、自然の価値の向上に取り組んでいきます。

#### 食やものづくりで《うらやま》の魅力を広くアピールする

多くの方にうらやまにかかわっていただくために、興味を持ちやすい食やふるさとのものづくりなどでうらやまの魅力をアピールするとともに、うらやまを訪れる機会をふやします。

#### 市の連携によって《うらやま》の自然を地域に広げる

うらやまの自然を地域に広げていくために、市が連携して、うらやまのもつ様々な価値を知るとともに、価値を高めていき、まちなかの様々な場所で自然を再生・創出するための取り組みを進めます。

まちと森が一体となった《うらやま》ゾーン

### まちとうらやまの関係からみた4市の立地条件



【まちでの取り組み】再生と創出 ◀ ..... ▶ 【うらやまでの取り組み】価値の再発見と保全

#### 取組内容の例

【共通】4市共同による共通戦略・計画の策定/出版物などによるうらやまのアピール/意欲のある土地所有者向けの情報交換の場の設定・			
<b>まちなかの緑アップ作戦</b> ・社寺林と社寺林をつなぐ緑の道の創出とその仕組みづくり ・教育機関、公共施設におけるビオトープの創出	<b>うらやまからまちへの緑のバイパスづくり</b> ・教育機関、公共施設、企業用地を中心に様々な場所でのビオトープの創出とその仕組みづくり ・地域住民の協力によるニュータウン内の樹木構成の改善	<b>うらやま生態系の保全</b> ・うらやまの食やものづくりをテーマにしたイベントの開催 ・公有林の管理の方向性についての検討 ・うらやまボランティア講座の開催 ・既存イベントの更なる充実	<b>ホットスポットの保全</b> ・自然を保全していくことが望まれる場所(ため池、湧水湿地等)の抽出と共有 ・ため池内の外来種の駆除 ・公有林の管理の方向性についての検討